

第1学年 国語科 年間学習計画

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標	
1 学 期	4	はるがきた おはなしききたいな なんていおうかな かくことたのしいな どうぞよろしく こんなものみつけたよ うたにあわせてあいいうえお	【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	
		5 こえにだしてようもう よくきいてはなそう ことばをさがそう はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくろう ねこと ねっこ		〈絵を見たり読み聞かせを聞いたりして、気づいたこと思ったことを話したり聞いたりする〉 〈読み聞かせを聞き、話の筋をつかんだり様子を想像したりする〉 〈場面にあったあいさつや話す内容を考えて使うことができる〉 〈姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書く〉 〈ていねいな言葉と普通の言葉の違いに気をつけて使う〉 〈学校内を探検し、見つけたことを工夫して伝え合う〉 〈母音を基本とした言葉遊びを通して、姿勢や口形、発声や発音に注意して話す〉 〈語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読する〉 〈友だちと好きな遊びを聞き合い、聞いたことを知らせる〉 〈「あ い う か」ではじまる言葉を集めたり書いたりして語彙を増やす〉 〈語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する〉 〈図書室で興味のある本を探して読み、読書に親しむ〉 〈濁音と清音の違いを理解し、濁音のひらがなを正しく読み書きする〉 〈句読点の打ち方、主語と述語の文型を理解し、正しく文を書く〉 〈促音と半濁音が分かり、正しく読み書きする〉
		6 わけをはなそう おばさんとおばあさん あいいうえおであそぼう つぼみ おもちゃとおもちゃ おおきくなった おおきなかぶ		〈自分の気持ちと、その理由を説明する話したかを理解する〉 〈長音の書き表し方に注意して、ひらがなの長音を正しく読み書きする〉 〈「あいいうえおで遊ぶう」を言葉の意味を考え正しい発音で読み、五十音表の仕組みを理解する〉 〈植物のつぼみについてまとまりごとに絵や写真と結びつけ、正しく読み取る〉 〈拗音の書き表し方に注意して、ひらがなの拗音を正しく読み書きする〉 〈観察したことを書く絵日記の書き方を理解し、絵日記を書くこととする〉 〈物語の言葉のくり返しやリズムのおもしろさを味わい、音読や動作化をする〉
		7 はをへをつかおう すきなこと、なかに おむすびころりん こんなことがあったよ としょかんとなかよし		〈助詞「は・を・へ」の使い方がわかり、正しく音読したり、使ったりした文を書く〉 〈自分の「すきなもの」の理由を話したり、はっきりさせた文章を書いたりする〉 〈昔話の伝統的な言語文化に親しみ、場面を想像しながらリズムや響きを楽しむ〉 〈絵日記の書き方を理解し、したことを思い出して絵日記を書く〉 〈学校図書館で興味のある本を探して読み、読書に親しむ〉
		9 こえをあわせてようもう みんなにしろせよう ことばをみつけよう やくそく かたかなをみつけよう うみのかくれんぼ かずとかんじ くじらぐも まちがいをなおそう しらせたいな、見せたいな かん字のはなし ことばをたのしもう じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう かたかなをかこう どんなお話ができるかな たぬきの糸車 日づけとよう日 てがみでしらせよう むかしばなしをよう／おかゆのおなべ		〈語のまとまりや言葉のリズムなどに気をつけて音読する〉 〈友だちが夏休みにしたことを、様子を思いうかべながら聞く〉 〈身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにする〉 〈お話を楽しく読み、登場人物になったつもりで音読する〉 〈片仮名の表記を理解し、正しく読み書きする〉 〈文章と写真を結びつけながら、何が、どこに、どのように隠れているか、読み取る〉 〈漢数字を正しく読み書きしたり、身近なものの数え方を知り、正しく数えたりする〉 〈場面を思いうかべながら登場人物になった気持ちで音読したり話し合ったりする〉 〈助詞「は・を・へ」の使い方を理解して、正しく直している〉 〈知らせたいことと見せたいことをよく観察して、相手に分かるように文章を書く〉 〈漢字のそれぞれのでき方を理解して、意味を考えて漢字を正しく使う〉 〈文字と言葉の関係を理解し、言葉遊びを楽しむ〉 自動車毎に「しごと」「つくり」を結びつけ内容を正確に理解し、読み取る。 〈いろいろな自動車について学習したことをもとに図鑑をつくる〉 〈片仮名の表記を理解し、正しく読んだり書いたりする〉 〈友達と話したことをもとにして物語をつくる〉 〈登場人物や場面を想像しながら、物語を楽しく読む〉 〈日付の歌をくり返し読み、日付と曜日の言い方を理解する〉 〈相手のことを思いうかべながら、知らせたいことを手紙に書く〉 〈昔話を読んで、お話カードに書き、みんなに紹介する〉
				1 なりきってようもう くわしくきこう ことばであそぼう どうぶつの赤ちゃん ものの名まえ 2 わらしべちょうじゃ かたかなのかたち ことばあそびをつくろう これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい、一年生

第1学年 算数科 年間学習計画

目 標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学期	4	○くらべたことがあるかな・おおいのはどちらかな	【知識及び技能】 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
	4-5	1. なかまづくりとかずく条件に応じて集合をとらえる>	
	5	2. なんばんめ<順序や位置を数で表す>	
	6	○どのようにかわるかな ○しあげよう	
	6-7	3. あわせていくつふえるといくつ<加法の意味をとらえる> 4. のこりはいくつちがいはいくつ<減法の意味をとらえる> 5. どちらがながいく長さの概念をとらえ測定する>	
2 学期	9	6. わかりやすくせりしよう<絵や図を用いて数量を表現し読み取る> 7. 10よりおおいかず<数構成に基づく加減計算をする> 8. なんじなんじはん<時計の目盛りと針の機能をとらえる>	【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
	10	9. 3つのかずのけいさん<簡単な3つの数の加減計算をする> 10. どちらがおおい<体積の概念をとらえる>	
	11	11. たしざん<繰り上がりのある1位数同士の加法計算をする> 12. かたちあそび<立体図形の基礎的概念をとらえる>	
	12	13. ひきざん<繰り下がりのある減法計算をする> ○どんなけいさんになるのかな? ○けいさんびらみっど	
3 学期	1	14. おおきいかず<簡単な3位数を数え、加減計算をする>	
	2	15. どちらがひろい<面積の概念をとらえる> 16. なんじなんぶん<何時何分の読み方をとらえる> ○ビルをつくろう	
		17. たしざんとひきざん<異種の量について加減計算をする>	
	3	18. かたちづくり<基本的な平面図形の構成をとらえる> ○1ねんのふくしゅう	

第1学年 生活科 年間学習計画

目 標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(2)身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

(3)身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自身をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学期	4	がっこうだいすきいちねんせい いくぞ!がっこう たんけんたい 〈学校や通学路を探検する活動を通して、楽しく安心して学校生活を送ることができるようにする〉	【知識及び技能】 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気づき、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な人々、社会及び自然とふれあったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気づき、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
	5-6	わたしのはなをそだてよう 〈植物を育てる活動を通して、親しみをもって大切にすることができるようになる〉	
	6-7	なつと なかよし 〈身近な自然を観察したり、夏の遊びを楽しんだりする活動を通して、みんなと仲よく遊んだり、自分たちの生活を楽しんだりすることができるようにする〉	
2 学期	9	わたしのはなをそだてよう 〈植物を育てる活動を通して、親しみをもって大切にすることができるようになる〉 生きもの 大すき 〈生き物と触れ合ったり世話をしたりする活動を通して、生き物を愛着をもって大切にすることができるようになる〉	【学びに向かう力・人間性等】 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気づき、意欲と自信をもって生活するようにする。
	10	あきと なかよし 〈秋の校庭や遊び場などで散歩したり遊んだりする活動を通して、楽しむことができるようにする〉	
	11-12	じぶんでチャレンジ大さくせん 〈家庭生活について調べたり、自分の家庭生活を振り返ったりする活動を通して、規則正しく健康に気をつけて生活を送ることができるようにする〉	
3 学期	1	ふゆと なかよし 〈身近な自然を観察したり、冬の遊びを楽しんだりする活動を通して、自分の生活を楽しむことができるようにする〉	
	2-3	もう すぐ 2年生 〈入学してから1年間を振り返ったり、年長児との関わりを深めたりする活動を通して、進級する喜びやこれからの成長への願いをもって意欲的に生活することができるようにする〉	

第1学年 音楽科 年間学習計画

目 標

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2)音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。

(3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学 期	4	1.うたって おどって なかよくなるう ＜A表現(歌唱)、B鑑賞＞	【知識及び技能】 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
	5	2.はくを かんじとろう ＜A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)、B鑑賞＞	
	6-7	3.はくに のってリズムを うとう ＜A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)、B鑑賞＞	
	7	4.みの まわりの おとに みみを すまそう ＜A表現(音楽づくり)＞	
2 学 期	9	5.どれみと なかよくなるう ＜A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞＞	
	10	6.せんりつで よびかけあおう ＜A表現(歌唱、音楽づくり)、B鑑賞＞	
	11	7.がっきと なかよくなるう ＜A表現(歌唱、器楽)、B鑑賞＞	
	12	8.ようすを おもいうかべよう ＜A表現(歌唱、器楽、音楽づくり)＞	
3 学 期	1	9.にほんの うたを たのしもう ＜A表現(歌唱)、B鑑賞＞	
	1-2	10.みんなであわせて たのしもう ＜A表現(器楽・音楽づくり)、B鑑賞＞	

第1学年 図画工作科 年間学習計画

目 標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようになる。

(2)造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。

(3)つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を想像しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学期	4	すきなもののいっぱい 〈いろいろなものの色や形を見て楽しむ〉 おしえてみんなのすきなもの 〈自分の好きなものをクレヨン・パスで描く〉 ねんどとなかよし 〈粘土の感触を味わいながら、様々な形に変え、造形遊びをする〉 チョッキン パツでかざろう 〈色紙を折って、はさみで切って、開いてかざりをつくる〉	【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようになる。 【思考力・判断力・表現力等】 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようになる。 【学びに向かう力・人間性等】 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
	5	さわってまぜてきもちいい	
	6	〈混ぜてつくった絵具を描いたり塗ったりする〉	
	6	ひかりのくにのなかまたち	
	7	〈色セロハンなどの光を透過材料で好きな形を作り、工夫して工作する〉	
2 学期	9	スタンプペったん 〈身の回りにある材料を使って、スタンプ遊びをする〉	
	9	ごちそう パーティー はじめよう! 〈粘土でごちそうを作る〉	
	9-10	いろいろな かたちのかみから 〈いろいろな形の紙をつかって絵に表す〉 だいすき!わくわくペーパー 〈風に揺れるかざりをつくる〉 おしらせします!にっこりニュース	
	11	〈発見したことや身近な出来事を工夫して絵に表す〉	
	12	くしゃくしゃだいへんしん 〈紙をくしゃくしゃにして操作して立体に表す〉	
3 学期	1	ふわっふわっゴー 〈軽い容器に風を当てて多様な動きを試し、装飾を工夫して工作する〉 できたらいいなこんなこと	
	2	〈経験したことから想像して、思いついたことを絵に表す〉	
	3	ようこそあたらしい!ねんせい 〈作品を飾り自分たちの気持ちを伝える〉	

第1学年 体育科 年間学習計画

目 標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

(2) 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

(3) 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

学期	月	学習内容(単元)	年間学習目標
1 学 期	4	体ほぐしの運動遊び〈リズムにのって動く遊び〉	【知識及び技能】 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をする態度を養う。
	4-5	ボールゲーム(的当てゲーム・シュートゲームなど)	
	4-7	固定施設を使つての運動遊び(タイヤ飛び・雲梯・肋木など)	
	5	50m走	
		鉄棒を使った運動遊び〈ぶら下がり、跳び上がり、易しい回転〉	
	6	鬼遊び(手つなぎ鬼・ボール運び鬼など)	
		マットを使った運動遊び〈背中や腹をつけて転がる、体を反らす・前転・後転〉	
	6-7	水遊び	
2 学 期	9	走の運動遊び〈かけっこ、リレー遊び〉	
		表現遊び・リズム遊び〈運動会につながる表現遊び〉	
	10	体ほぐしの運動遊び〈フープ等を用いた運動遊び等〉	
		フラッグラグビー	
	10-11	跳び箱を使った運動遊び〈跳び乗り、跳び下り、馬跳びなど〉	
	11	跳の運動遊び(ケンパー跳び遊び・ゴム跳び遊びなど)	
	12	ボール遊び(ボールを手などで打ったり蹴ったりする)	
		体ほぐしの運動(縄跳びで、前とび・後ろとびなど)	
3 学 期	1	体ほぐしの運動(縄跳びで、前とび・後ろとびなど)	
	1-2	ボールゲーム(ボールを蹴る)	
	2-3	ボールゲーム	